



<校訓>
敬愛 自主 創健

未来橋

令和6年11月-②

高浜町立高浜中学校



Takahama Junior High School

決意新たに後期生徒会スタート

「後期生徒会テーマは、『飛—REAL』です。」先日の生徒総会において後期生徒会長が、所信表明をしてくれました。

「Be Real」=「リアルであれ」という意味で、今Z世代の若者に支持され、インスタグラムに対抗して生まれた映えないアプリ

「Be Real.」に掛けたそうです。デジタル加工や生成AIによる盛った世界ではなく、飾らない本当の自分を交わし合おうという意味を込めると説明がありました。



←ロゴデザイン



生徒総会

特に「笑顔」「元気」「あいさつ」が飛び交う学校にという思いを込めたと力強く発表してくれました。

具体的な活動の柱として、

- 1 ハピ活の継続とグレードアップ
- 2 あいさつキャンペーン
- 3 縦割り活動の充実
- 4 3年生 thank you の会

を計画しているということです。

生徒総会では、全校の生徒から提案や質疑応答が活発に行われ、これから生徒会執行部や各専門委員会で検討していくことになります。

前期生徒会や3年生から引き継いだ素晴らしい校風と伝統に新たな味付けをしながら、創意と主体性を發揮していってほしいと思います。

心通い合わせた素晴らしい合唱

先日、校内合唱コンクールを開催し、見事なハーモニーが体育館一杯に響き渡りました。練習の最初の頃は、なかなか声が出なかったり、音程が合わなかったりと思うような合唱にならなかつたようです。しかし、事前の縦割り合唱発表会で3年生の出来栄えに刺激を受けたり、相互にアドバイスを送り合ったりする中で、一層練習にも熱がこもり、1日中、校舎のあちらこちらから歌声が聞こえてくるほどでした。



本番では、どのクラスも素晴らしい仕上がりで、一生懸命な表情や、終わった後に互いのがんばりを称え合う爽やかな姿が見られました。みんなで心を1つにしようと練習を重ねてきたことで絆が深まり、賞以上の成果と忘れ得ぬ思い出を残すことができたのではないかと思います。

パラアスリートの生き方に学ぶ

東京パラ五輪車いすバスケットボール銀メダリストの宮島徹也さんを招き、実技指導と講演をしていただきました。

もともと運動が得意ではなかったという宮島さん。中学生からバスケを始め自信がつきはじめた矢先、事故で左足を失い大きな絶望感を味わっていました。しかし、友達や家族の温かな支えがあり再起。努力を重ね念願の日本代表に選出された喜びを語られました。



加えて、「夢や目標をもって、つかみ取ろうと諦めずに努力や挑戦をしているとチャンスが訪れる。たとえ夢が叶わなくても、がんばっていれば必ず見ている人がいて応援してくれる。周囲の助けを借りることも大事な力だよ。」と、経験をもとに温かい励ましをいただきました。生徒達は、熱意溢れる一言一言に耳を傾け、新たな気づきを得ているようでした。



人は一人では生きていくことはできません。社会の中で支え合いながら生きてています。自分一人でできるようになることも大切ですが、難しい時は人の力を借りること、困っている人に声をかけ、必要に応じて手助けすることが「自立と共生」につながることを改めて感じました。

地域とともに歩む高中生

【箱庭市】



杜仲茶PRコーナーの運営



赤ふん坊やグッズのPRと販売



国際交流コーナーの運営

【はまなすマラソン】



運営支援ボランティア



吹奏楽部の応援演奏